

大学等名	名古屋大学
プログラム名	名古屋大学数理・データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム

プログラムを構成する授業科目について

① 申請単位 大学等全体のプログラム ③ 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違する

② 対象となる学部・学科名称

文学部

④ 修了要件

「データ科学基礎」1単位および「情報学演習」2単位、合計3単位を取得すること。
 令和6年度以前入学者は「データ科学基礎」1単位および「情報学演習」2単位、合計3単位を取得すること。
 令和7年度以降入学者は「データ科学基礎」1単位および「データ科学基礎演習A」1単位、合計2単位を取得すること。

必要最低単位数 3 2 単位

履修必須の有無 令和8年度以降に履修必須とする計画、又は未定

⑤ 応用基礎コア「Ⅰ. データ表現とアルゴリズム」の内容を含む授業科目

令和6年度以前より、履修することが必須のプログラムとして実施

授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7	授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7
データ科学基礎	1	○	○		○								
情報学演習	2	○		○	○	○							
データ科学基礎演習A	1	○	○	○		○							

⑥ 応用基礎コア「Ⅱ. AI・データサイエンス基礎」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9	授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9
データ科学基礎	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
情報学演習	2	○			○																
データ科学基礎演習A	1	○		○		○				○											

⑦ 応用基礎コア「Ⅲ. AI・データサイエンス実践」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	授業科目	単位数	必須
情報学演習	2	○			
データ科学基礎演習A	1	○			

⑧ 選択項目・その他の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑨ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎(統計数理、線形代数、微分積分)」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す。	・順列、組合せ「データ科学基礎」(6回目) ・条件付き確率「データ科学基礎」(6回目) ・代表値(平均値、中央値、最頻値)「データ科学基礎」(4回目) ・分散、標準偏差「データ科学基礎」(4回目) ・相関関係と因果関係「データ科学基礎」(5回目) ・相関関係「データ科学基礎」(5回目) ・名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度「データ科学基礎」(4回目) ・確率分布、正規分布「データ科学基礎」(6回目) ・ベイズの定理「データ科学基礎」(6回目) 1-6 点推定と区間推定「データ科学基礎」(7回目) ・帰無仮説と対立仮説、片側検定と両側検定、p値、有意水準「データ科学基礎」(8回目) ・第1種の過誤、第2種の過誤「データ科学基礎」(8回目) ・代表値(平均値、中央値、最頻値)、分散、標準偏差(Excel)「データ科学基礎演習A」(3回目) ・代表値(平均値、中央値)、標準偏差(R)「データ科学基礎演習A」(5回目) ・分散(R)「データ科学基礎演習A」(6回目) ・相関係数「データ科学基礎演習A」(3回目、6回目、7回目、8回目) ・帰無仮説と対立仮説、p値、有意水準「データ科学基礎演習A」(3回目、6回目) ・ベクトルの演算、内積「データ科学基礎演習A」(4回目)
	・フローチャート「情報学演習」(12回目) ・ソート、サーチ「情報学演習」(12回目) 1-7 1. アルゴリズムの表現「データ科学基礎演習A」(8回目) 2. 並び替え、探索「データ科学基礎演習A」(1回目、3回目) 3. ソートアルゴリズム、バブルソート、選択ソート、挿入ソート「データ科学基礎演習A」(1回目) 4. 探索アルゴリズム、リスト検索、木探索「データ科学基礎演習A」(1回目)
	・コンピュータで扱うデータ(数値、文章、画像、音声、動画など)「データ科学基礎」(2回目) ・構造化データ、非構造化データ「データ科学基礎」(1回目) ・二進数「データ科学基礎」(2回目) ・文字コード「データ科学基礎」(2回目) ・情報量の単位(ビット、バイト)「データ科学基礎」(2回目) ・画素(ピクセル)、色の3要素(RGB)「データ科学基礎」(2回目) ・画像の符号化「データ科学基礎」(2回目) ・周波数、標本化、量子化「データ科学基礎」(2回目) ・音声の符号化「データ科学基礎」(2回目) ・数値、文章、画像、音声、動画「情報学演習」(1回目) ・文字コード「情報学演習」(2回目) ・配列「情報学演習」(4回目) ・グラフ「情報学演習」(11回目、12回目、13回目)
	・文字型「情報学演習」(1回目、2回目) ・整数型「情報学演習」(1回目、3回目) ・浮動小数点型「情報学演習」(1回目、4回目) ・変数「情報学演習」(1回目、2回目) ・代入「情報学演習」(1回目、3回目) ・四則演算「情報学演習」(1回目、4回目、5回目) ・論理演算「情報学演習」(1回目、2回目、3回目、4回目、5回目) ・関数、引数、戻り値「情報学演習」(4回目、5回目、6回目、7回目、8回目、9回目、10回目、11回目、12回目、13回目) ・順次、分岐、反復の構造を持つプログラムの作成「情報学演習」(4回目、5回目、6回目、7回目、8回目、9回目、10回目、11回目、12回目、13回目) ・文字型、数値型「データ科学基礎演習A」(4回目) ・変数、代入、四則演算、論理演算「データ科学基礎演習A」(4回目、8回目) ・関数、引数、戻り値「データ科学基礎演習A」(8回目) ・順次、分岐、反復の構造を持つプログラムの作成「データ科学基礎演習A」(8回目)
	1-1 1. データ駆動型社会「データ科学基礎」(1回目) 2. データサイエンス活用事例「データ科学基礎」(1回目) 3. データを活用した新しいビジネスモデル「データ科学基礎」(1回目)
	1-2 1. データ分析の進め方「データ科学基礎」(1回目) 2. データの加工(アノテーション)「データ科学基礎」(1回目) 3. データの収集、加工「データ科学基礎」(1回目) ・分析目的に応じた適切な調査(標本調査、標本誤差)「データ科学基礎」(7回目) ・サンプルサイズ的设计「データ科学基礎」(7回目) ・様々なデータ分析手法(検定、回帰)(Excel)「データ科学基礎演習A」(3回目) ・様々なデータ分析手法(検定、回帰、クラスターリング)(R)「データ科学基礎演習A」(6回目、7回目) ・様々なデータの可視化手法(比較、構成、分布、変化)(Excel)「データ科学基礎演習A」(2回目) ・様々なデータの可視化手法(比較、構成、分布、変化)(R)「データ科学基礎演習A」(5回目、6回目) ・データの加工、分割「データ科学基礎演習A」(4回目、8回目)

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度【応用基礎レベル】

(2) AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得するAI基礎的なものに加え、「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、及び「深層学習の基礎と展望」から構成される。	2-1	- ICT(情報通信技術)の進展、ビッグデータ「データ科学基礎」(1回目) - ビッグデータ活用事例(1回目) - ソーシャルメディアデータ(Facebook)「データ科学基礎」(1回目) - ビッグデータ「情報学演習」(1回目) - ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「情報学演習」(1回目) - ビッグデータの活用事例「情報学演習」(1回目)
	3-1	- AIの歴史「データ科学基礎」(1回目) - AI技術の活用領域の広がり「データ科学基礎」(1回目) - 人間の知的活動とAI技術「データ科学基礎演習A」(3回目, 7回目) - 機械学習ライブラリ「データ科学基礎演習A」(5回目, 6回目, 7回目, 8回目)
	3-2	- AI倫理「データ科学基礎」(3回目) - プライバシー保護、個人情報の取り扱い「データ科学基礎」(3回目) - AIに関する原則/ガイドライン「データ科学基礎」(3回目) - AIの公平性、AIの信頼性「データ科学基礎」(3回目) - AIの説明可能性「データ科学基礎」(1回目) - AIと知的財産権「データ科学基礎」(1回目)
	3-3	- 実世界で進む機械学習の応用と発展「データ科学基礎」(1回目) - 機械学習、強化学習「データ科学基礎」(1回目) - 教師あり学習「データ科学基礎」(1回目)
	3-4	- 実世界で進む深層学習の応用と革新「データ科学基礎」(1回目) - ニューラルネットワークの原理「データ科学基礎」(1回目) - 敵対的生成ネットワーク(GAN)「データ科学基礎」(1回目) - 深層強化学習「データ科学基礎」(1回目)
	3-9	- AIの社会実装、ビジネス/業務への組み込み(Kaggle)「データ科学基礎」(1回目) - AIの開発環境と実行環境(Google Colaboratory)「データ科学基礎演習A」(4回目, 5回目, 6回目, 7回目, 8回目)
(3) 本認定制度が育成目標として掲げる「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材」に関する理解や認識の向上に資する実践の場を通じた学習体験を行う学修項目群。応用基礎コアのなかでも特に重要な学修項目群であり、「データエンジニアリング基礎」、及び「データ・AI活用企画・実施・評価」から構成される。	I	- フローチャート「情報学演習」(12回目) - ソート、サーチ「情報学演習」(12回目) - 数値、文章、画像、音声、動画「情報学演習」(1回目) - 文字コード「情報学演習」(2回目) - 配列「情報学演習」(4回目) - グラフ「情報学演習」(11回目, 12回目, 13回目) - 文字型「情報学演習」(1回目, 2回目) - 整数型「情報学演習」(1回目, 3回目) - 浮動小数点型「情報学演習」(1回目, 4回目) - 変数「情報学演習」(1回目, 2回目) - 代入「情報学演習」(1回目, 3回目) - 四則演算「情報学演習」(1回目, 4回目, 5回目) - 論理演算「情報学演習」(1回目, 2回目, 3回目, 4回目, 5回目) - 関数、引数、戻り値「情報学演習」(4回目, 5回目, 6回目, 7回目, 8回目, 9回目, 10回目, 11回目, 12回目, 13回目) - 順次、分岐、反復の構造を持つプログラムの作成「情報学演習」(4回目, 5回目, 6回目, 7回目, 8回目, 9回目, 10回目, 11回目, 12回目, 13回目) - 並び替え、探索「データ科学基礎演習A」(1回目, 3回目) - 代表値(平均値、中央値、最頻値)、分散、標準偏差「データ科学基礎演習A」(3回目, 5回目, 6回目) - 帰無仮説と対立仮説、p値、有意水準「データ科学基礎演習A」(3回目, 6回目) - 相関係数「データ科学基礎演習A」(3回目, 6回目, 7回目, 8回目) - ベクトルの演算、内積「データ科学基礎演習A」(4回目) - 変数、代入、四則演算、論理演算「データ科学基礎演習A」(4回目, 8回目) - 順次、分岐、反復の構造を持つプログラムの作成「データ科学基礎演習A」(8回目) - 関数、引数、戻り値「データ科学基礎演習A」(8回目)
	II	- ビッグデータ「情報学演習」(1回目) - ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「情報学演習」(1回目) - ビッグデータの活用事例「情報学演習」(1回目) - 様々なデータ可視化手法「データ科学基礎演習A」(2回目, 5回目, 6回目) - 様々なデータ分析手法「データ科学基礎演習A」(3回目, 6回目, 7回目) - データの加工、分割「データ科学基礎演習A」(4回目, 8回目) - AIの開発環境と実行環境(Google Colaboratory)「データ科学基礎演習A」(4回目, 5回目, 6回目, 7回目, 8回目) - 機械学習ライブラリ「データ科学基礎演習A」(5回目, 6回目, 7回目, 8回目)

⑩ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

自らの専門分野において、数理・データサイエンス・AIを活用して課題を解決するための実践的な能力を育成する。

学部・大学院区分 Undergraduate / Graduate	文学部
時間割コード Registration Code	0160403
科目区分 Course Category	専門科目 Specialized Courses
カリキュラム年度 Curriculum	2022年度入学以降
教育プログラム・分野・専門等 Major	共通選択科目
科目名【日本語】 Course Title	情報学演習(2022入学～)
科目名【英語】 Course Title	Introductory Seminar on Information Science(From2022)
コースナンバリングコード Course Numbering Code	HUMCC3113J
担当教員【日本語】 Instructor	重見 晋也 ○
担当教員【英語】 Instructor	SHIGEMI Shinya ○
開講期・開講時間帯 Term / Day / Period	秋 水曜日 2時限 Fall Wed 2
隔年開講 Biennial class	
単位数 Credits	2
対象学年 Year	3年生以上
他学部生の受講の可否 Propriety of Other department student's attendance	可
授業形態 Course style	演習 Seminar
教職【入学年度】 Teacher's License	
教職【教科】 Teacher's License	
学芸員資格(該当の有無) Curator's Qualifications	
講義題目 Title	Python入門

授業の目的 【日本語】 Goals of the Course(JPN)	プログラミング言語Pythonの基礎を習得し、コンピュータを使った文字列処理の基礎を学ぶことを通じて、どのようにコンピュータがことばをあつかうかを理解します。
授業の目的 【英語】 Goals of the Course	We learn Python as a programming language to understand how computer process natural language.
到達目標【日本語】 Objectives of the Course(JPN)	Googleの提供するオンライン・サービスである Collaboratoryを使って、ダイアグラムや散布図などの簡単なグラフを描画できるようになることを目標としています。
授業の内容や構成 Course Content / Plan	授業は、プログラミング言語Pythonの基礎を習得することを目指します。プログラムの作成にあたっては、Googleの提供するオンライン・サービスである Collaboratoryを利用します。オブジェクトの扱い方から始めて、ライブラリーの使い方までを習得します。

履修条件・関連する科目 Course Prerequisites and Related Courses	履修条件は要さない。
成績評価の方法と基準 Course Evaluation Method and Criteria	期末に授業内容の範囲内で作成できるプログラムの作成を課題として出します。その課題試験によってPythonプログラミングの基礎を習得度を評価します。 60点以上を合格とします。
教科書・テキスト Textbook	必要に応じて授業で示す。
参考書 Reference Book	必要に応じて授業で示す。
課外学習等(授業時間外学習の指示) Study Load(Self-directed Learning Outside Course Hours)	必要に応じて授業で示す。
履修取り下げ制度(利用の有無)学部のみ Course withdrawal	履修取り下げ制度を利用する:『履修取り下げ届』を期日までに提出した場合は原則「Wもしくは欠席」となりますが、同届を提出しない場合は成績評価が行われ、合格基準に達しない場合は「F」となります。
備考 Others	
授業開講形態等 Lecture format, etc.	A-1) 対面授業科目(対面のみ)

学部・大学院区分 Undergraduate / Graduate	学部
時間割コード Registration Code	0013591
科目名【日本語】 Course Title	[遠隔]データ科学基礎
科目名【英語】 Course Title	[remote]Introduction to Data Science
使用言語 Language Used in the Course	日本語
担当教員【日本語】 Instructor	井手 一郎 ○ 大平 徹 枝廣 正人
担当教員【英語】 Instructor	IDE Ichiro ○ OHIRA Toru EDAHIRO Masato
単位数 Credits	
開講期・開講時間帯 Term / Day / Period	I 水曜日 5時限 I Wed 5

授業の目的 【日本語】 Goals of the Course [JPN]	社会の様々な場面で新しい価値を生み出す基盤となるデータ分析能力を身につけるために、その基礎的知識と汎用的な分析技能を獲得することとを目的とします。そのために、コンピュータリテラシ、データの記述と可視化、確率及び統計の基礎的概念について学びます。その際に、必要に応じて高校レベルの数学を用いた解説を行うことがあります。受講生が概要を直感的に理解することを優先します。
授業の目的 【英語】 Goals of the Course [ENG]	The goal of this course is to acquire basic knowledge and general-purpose analytical skills in order to acquire data analysis capabilities that will serves the foundation for creating new value in various situations in the society. For this goal, students will learn computer literacy, data description and visualization, and basic concepts of probability and statistics. If necessary, explanations using high school level mathematics will be given, but priority will be given to students' intuitive understanding of the outline.
授業の達成目標【日本語】 Objectives of the Course [JPN]	データ分析能力を身につけるうえで、最も重要な基礎的知識を習得します。
授業の達成目標【英語】 Objectives of the Course [ENG]	Students will learn the most important basic knowledge for acquiring data analysis skills.
授業の内容や構成 Course Content or Plan	1: ガイダンス、データ科学の役割 2: コンピュータにおけるデータの表現と処理 3: 人工知能 4: 情報倫理と関連法規 5: データの可視化・要約 6: 変数間の関係 7: 確率 8: 統計的推定 9: 統計的検定
履修条件・関連する科目 Course Prerequisites and Related Courses	なし
成績評価の方法と基準 Course Evaluation Method and Criteria	各回の講義内容に関する小テストの提出状況及び達成度によります。小テストの提出状況及び得点を総合的に評価し、合計100点満点で60点以上を合格とします。履修取下げの際に申し出を必要としません。小テストの提出回数が3回以下の場合には、評価を「W」とします。
教科書 Textbook	教科書は指定しませんが、毎回の授業で講義資料を配付します。
参考書 Reference Book	必要に応じて講義内で示します。
課外学修等 Study Load (Self-directed Learning)	講義後に小テストに回答してください。また講義内容の不明点について、繰り返しビデオ教材を視聴したり、独自に調査したりしたうえで、必要に応じて随時質問してください。

Outside Course Hours)	
注意事項 Notice for Students	本講義は、オンデマンド型ビデオ教材により行います。詳細はTACT上の指示に従ってください。
本授業に関するWebページ Reference website for this Course	
担当教員からのメッセージ Message from the Instructor	
実務経験のある教員等による授業科目(大学等における修学の支援に関する法律施行規則に基づくもの) Courses taught by Instructors with practical experience	
授業開講形態等 Lecture format, etc.	D-2) オンデマンド型

学部・大学院区分 Undergraduate / Graduate	学部
時間割コード Registration Code	0022481
科目名 【日本語】 Course Title	[遠隔]データ科学基礎演習A
科目名 【英語】 Course Title	[remote]Data Science Exercise A
使用言語 Language Used in the Course	日本語
担当教員 【日本語】 Instructor	石井 秀宗 ○
担当教員 【英語】 Instructor	ISHII Hidetoki ○
単位数 Credits	1
開講期・開講時間帯 Term / Day / Period	Ⅱ 火曜日 4時限 Ⅱ Tue 4

授業の目的 【日本語】 Goals of the Course [JPN]	社会の様々な場面で新しい価値を生み出す基盤となるデータ分析能力を身につけるために、講義において習得した知識を基に受講生自身がプログラミングや計算機ツール等によるデータ分析の基礎的スキルを習得することを目的とします。講義で取り扱った計算や分析手法をR, Excel 等を用いて受講生自身が実行します(主に文系向け)。
授業の目的 【英語】 Goals of the Course [ENG]	The goal of this course is for students to acquire basic skills in data analysis using programming and computer tools based on the knowledge acquired in the lectures in order to acquire data analysis skills that will become the foundation for creating new values in various situations in the society. Students will execute the calculations and analysis methods learned in the lecture by themselves using R and Excel (Mostly for students in the humanities).
授業の達成目標 【日本語】 Objectives of the Course [JPN]	データ科学基礎において習得した知識を基に、Excel及びRを用いて、統計分析やプログラミングなどを行うための基礎的スキルを習得します。
授業の達成目標 【英語】 Objectives of the Course [ENG]	Students will learn basic skills for statistic analysis and programming through Excel and R, based on the knowledge learned in the Introduction to Data Science course.
授業の内容や構成 Course Content or Plan	1. コンピュータリテラン・Excelの基本操作 2. Excelによるデータの可視化・要約 3. Excelによるデータ分析:t検定・分散分析・回帰分析 4. Rの基本操作、Google Colaboratoryの基本操作 5. Rによるデータの可視化・要約 6. Rによる統計的推定・検定:t検定・分散分析・カイ2乗検定 7. Rによる多変量データ解析:回帰分析・クラスタ分析 8. Rによる初級プログラミング
履修条件・関連する科目 Course Prerequisites and Related Courses	なし
成績評価の方法と基準 Course Evaluation Method and Criteria	課外学習課題の提出状況および小テストの達成度によります。課題を6回分以上提出したうえで、6回分以上の小テストで正解率が8割以上の者を合格とします。履修取下げの際に申し出を必要としません。課題の提出回数が6回未満の場合には、評価を「W」とします。
教科書 Textbook	教科書は指定しませんが、毎回の授業で講義資料を配付します。
参考書 Reference Book	必要に応じて演習内で示します。
課外学修等 Study Load (Self-directed Learning)	講義後に小テストに解答してください。また、各回の演習内容に関連する課外学習課題を設定します。また演習内容の不明点について、繰り返しビデオ教材を視聴したり、独自に調査したりしたうえで、必要に応じて随時質問してください。

Outside Course Hours)	
注意事項 Notice for Students	本演習は、オンデマンド型ビデオ教材により行います。詳細はTACT上の指示に従ってください。 Excel及びGoogle Colaboratoryを利用してRの演習を行うため、Excel及びWebブラウザ(Firefox, Chrome, Safariを推奨)を利用できるパソコンを用意してください。また、Google Colaboratoryを利用するためにはGoogleのアカウントが必要なので、事前に取得しておいてください。
本授業に関するWebページ Reference website for this Course	
担当教員からのメッセージ Message from the Instructor	
実務経験のある教員等による授業科目(大学等における修学の支援に関する法律施行規則に基づくもの) Courses taught by Instructors with practical experience	
授業開講形態等 Lecture format, etc.	D-3) 演習: オンデマンド型 + 質疑: 同時双方向型

名古屋大学 数理・データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム 授業科目一覧

	データ科学 基礎	データ科学 基礎演習A	データ科学 基礎演習B	インフォマ ティックス 1	インフォマ ティックス 2	インフォマ ティックス 3	データマイ ニング入門	情報学演習
文学部 (2024年度以前入学者)	必修							選択
文学部 (2025年度以降入学者)	必修	必修						(選択) 本プログラムの修了 要件には含まない
教育学部 経済学部	必修	必修						
法学部	選択必修	選択必修						
情報学部	(必修) 本プログラムの修了 要件には含まない			必修	必修	必修	必修	
理学部 工学部	必修		必修					
医学部 農学部	必修	選択必修*						

*医学部においては、医学科の学生は演習B必修。農学部においては、生物系プログラム以外の学生は演習B必修。

名古屋大学 取組概要

【名古屋大学 数理・データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム】

目的

自らの専門分野で数理・データサイエンス・AIを活用して課題を解決するための実践的な能力を育成する。

応用基礎教育プログラム実施体制

プログラム運営主体

数理・データ科学・人工知能教育研究センター教育専門委員会

構成：教職員25名

（センター，教養教育院，さまざまな研究科、研究所等の教職員）

活動：学部・研究科を横断した学部初年次から大学院レベルまでのシームレスな数理・データ科学・AI教育の企画・評価

当プログラムにおける役割：

- ・ プログラム履修/修了状況確認、認定
- ・ プログラム全体を俯瞰した自己点検・評価・改善に関する検討、提言



実施・改善における機能的な連携

科目運営主体

全学教育科目

教養教育院統括部 データ科学科目部会

- ・ データ科学基礎
- ・ データ科学基礎演習A
- ・ データ科学基礎演習B

学部開講科目

文学部

- ・ 情報学演習

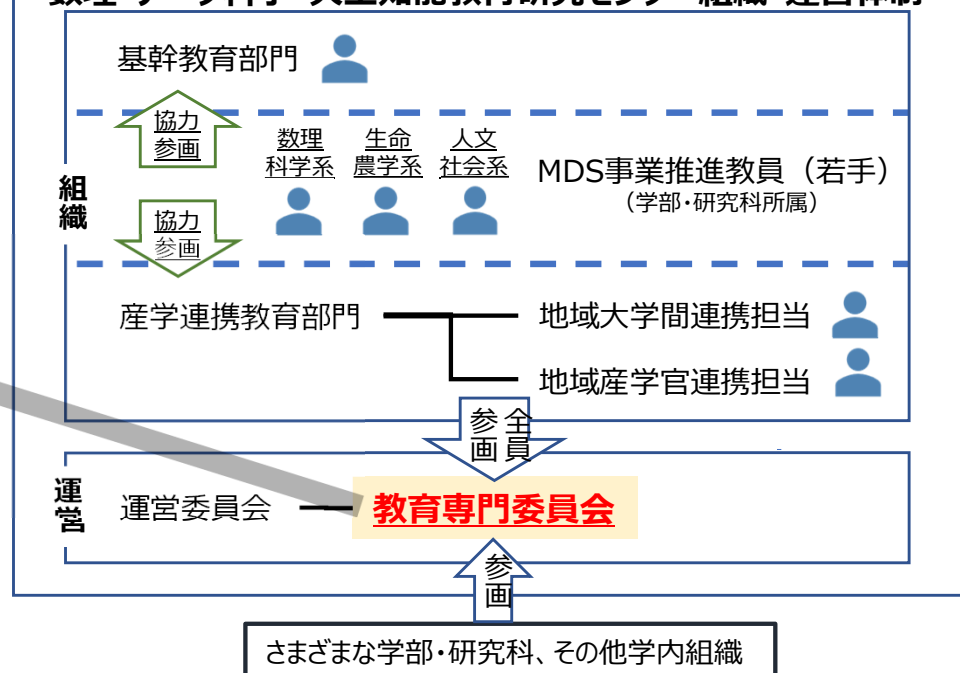
情報学部

- ・ インフォマティクス1
- ・ インフォマティクス2
- ・ インフォマティクス3
- ・ データマイニング入門

当プログラムにおける役割：

- ・ 個々の科目レベルでの企画・開講・改善に関する検討と実施
- ・ 科目担当目線でのプログラム全体に関する提言

数理・データ科学・人工知能教育研究センター組織・運営体制



プログラム科目構成と修了要件（学部により修了要件相違）

	基礎	基礎演習A	基礎演習B	学部開講科目
文学部	○	○ (2025以降入学者)		○ (2024以前入学者)
教育学部				
法学部	○	○		
経済学部				
情報学部	○			○
理学部	○		○	
工学部				
農学部	○			
医学部		○ (いずれか※)		

※医学部においては、医学科の学生は演習B必修。農学部においては、生物系プログラム以外の学生は演習B必修。